

## 施策の評価

施策の柱	柱⑬	文化財の保存と活用
------	----	-----------

### 1. 施策の主要目標の達成度

	施策の主要目標	目標達成度	判断理由
①	重要文化財高知城の整備と新たな国文化財指定を進める。	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 追手門東北石垣の解体修理に向けた基礎調査が、ほぼ年次計画通り完了した。</li> <li>◆ 国文化財の新たな指定等（7件）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小鶴津の興津メランジュ及びシュードタキライトの天然記念物指定</li> <li>・ 五色ノ浜の横浪メランジュの天然記念物指定</li> <li>・ 久礼の港と漁師町の景観の新選定</li> <li>・ 養花院の木造菩薩座像の重要文化財指定</li> <li>・ 豊楽寺の木造両脇侍像と木造二天王立像の重要文化財指定他2件</li> </ul> </li> </ul>

### 2. 施策を構成する個別事業・取組の評価結果

	個別事業・取組	目標達成度	検討項目	総合評価
58	高知城石垣整備事業	<b>B</b>		石垣部会の専門家の助言を受けながら、適切な解体範囲の検討を慎重に行い、施行範囲を決定するために必要な実測図を作成することができた。
59	国指定文化財の新たな指定等に向けた取組	<b>A</b>		文化財保護審議会委員の協力や文化庁の指導を得ながら指定等に向けて取り組み、当初予定した文化財より多くの文化財が、国の指定等を受けることができた。（計画4件→実績7件）

### 3. 施策の総合評価と今後の方向

総合評価	目標達成度	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>高知城石垣の解体修理の実施に向けた事前調査や新たな文化財指定など文化財を保存・活用するための事業を、関係機関と連携しながら概ね予定通り実施できた。</p>
今後の方向		<p>平成23年度も高知県文化財保護審議会委員や文化庁、市町村をはじめとすると関係機関と緊密な連携しながら、高知城の保存整備や国・県文化財の新たな指定に向けた取組などを引き続き実施することで、文化財の保護活用に努めていく。</p>